



⑩ 第二国民学校（現・一宮市立貴船小学校）の金属供出  
昭和18年（1943）



今年で第二次世界大戦の終結から79年の歳月が経過し、当時の生活を知る人は少なくなりました。戦争を知らない世代にとって、戦争は教科書で勉強する歴史上のできごととなっています。本展では、遠い昔のできごとと捉えられがちな戦争下の暮らしを身近に感じてもらうために、暮らしの中で使われていた生活道具や出版物などを通して、主に太平洋戦争の状況下で一宮市域の人々の暮らしに焦点を当てながら、戦時体制下の生活などについて紹介します。また、現代美術作家の小島久弥氏によるアート作品『クリティカルポイントノ戦争と平和』を合わせて展示します。



⑫ 尾張一宮駅の防空演習  
昭和15年（1940）10月



⑬ コクサク炭



⑭ 陶製湯たんぼ



⑮ 一宮翼賛壮年団による食糧増産奉仕  
昭和18年（1943）5月22日



⑯ 鉛筆



⑰ 「キンダーブック改題ミクニコドモ」  
昭和17年（1942）個人蔵



⑰ 木製ボタン



⑱ 防空壕掘り（松降通1丁目）  
昭和18年（1943）



⑲ 「エノホン」  
昭和16年（1941）



⑲ めんこ



⑲ 消火弾



私たちの町にも戦争があった。



⑳ 一宮高等女学校（現・愛知県立一宮商業高等学校）の防空演習  
昭和15年（1940）10月



㉑ 一宮の第一回空襲警報発令（上本町通5丁目（現・松降）八百菊前）  
昭和17年（1942）4月19日

2024 7.13(土) -> 8.18(日)

企画展

# 戦時下の一宮

せんじか いちのみや

## 博物館で夏祭り!

7月13日(土)~9月1日(日)

ICHINOMIYA CITY MUSEUM  
一宮市博物館

企画展  
戦時下の一宮

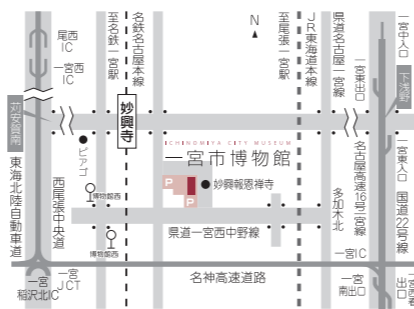
会期 2024年7月13日(土) - 8月18日(日)  
開館時間 9:30 ~ 17:00 [入館は16:30まで]  
休館日 毎週月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)  
観覧料 一般 500円、高大生 250円、中学生以下無料  
8月20日(火) ~ 常設観覧料 一般 300円、高大生 150円、中学生以下無料  
※ 20人以上の団体は2割引

一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を持参された方は無料  
身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(添派人1人を含む、ミラロID可)は無料

〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺2390  
TEL 0586-46-3215 FAX 0586-46-3216  
URL <https://www.icm-jp.com/>



ICHINOMIYA CITY MUSEUM  
一宮市博物館



名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車南口より徒歩7分  
JR東海道本線「尾張一宮」駅下車、タクシーで約10分  
ニコニコふれあいバス「博物館西」下車徒歩5分



④ 第二国民学校（現・一宮市立貴船小学校）の授業風景  
昭和21年（1946）2月



⑤ 旧一宮市役所玄関に掲げられた  
貯蓄目標横断幕  
昭和18年（1943）4月10日



# 企画展 戦時下の一宮



⑬ 第四国民学校（現・一宮市立大志小学校）  
校庭での模型飛行機大会  
昭和16年（1941）11月16日



⑥ 愛国イロハカルタ 個人蔵



⑧ 軍事郵便



⑨ 防空訓練（浜町3丁目大正通り角）  
昭和15年（1940）10月



⑪ 入宮風景（中島郡起町／現・一宮市）  
昭和19年（1944）  
一宮市尾西歴史民俗資料館蔵



⑭ 防毒マスク

⑮ 「大日本国防婦人会萩原町分会」  
たすき



⑯ 軍隊手帳（帳）



⑯ メガホン



⑰ 慰問袋



⑩ 日章旗



⑫ 慰問袋発送  
昭和18年（1943）4月10日

**講演会 戦争をくぐり抜けて**

子ども時代に戦争を体験した浅野さんに、戦時中の暮らしなどについてお聞きます。

7月20日（土）11:00～（10:30開場、60分程度）

講師 浅野美和子さん（女性史研究家） 聞き手 当館学芸員

対象 どなたでも  
定員 50名（先着、当日9:30より参加受付）  
参加費 300円（観覧料は含まない）

**戦時下の生活を調べよう**

企画展「戦時下の一宮」を見学しながら、ワークシートを完成させてみよう。

7月13日（土）～8月18日（日）

対象 小中学生 定員・参加費・申込 なし

**学芸員による展示解説**

7月28日（日）13:00～（60分程度）

対象 どなたでも（当日の観覧券が必要）  
参加費・申込 なし

## 博物館で夏祭り!



**いちのみやミュージアムズ**

**3館@スタンプラリー**

7月13日（土） - 9月1日（日）

9:30（ただし、美術館・資料館は9:00）～17:00

3館をめくりスタンプを集め、オリジナルグッズをもらおう。

実施館 一宮市博物館、一宮市三岸節子記念美術館、一宮市尾西歴史民俗資料館

対象 中学生以下 定員・参加費・申込 なし 参加費 無料（保護者は観覧券が必要）

**チャレンジ! いちはくワークシート**

博物館のことがよく分かるクイズに挑戦! 参加者にはオリジナルグッズをプレゼント。（対象は中学生以下）

参加費 無料（保護者は観覧券が必要）

**伊勢型紙ワークショップ**

好きな絵柄を合わせて、デザインカッターを使って切り絵を作ります。

8月17日（土）13:00～16:00（途中休憩あり）

講師 型紙ゆかり会のみなさん 定員 10名（抽選） 参加費 材料費100円（観覧料は含まない）

対象 小学3年生～中学生（保護者同伴、保護者1人につき子ども3人まで）

申込 6月25日（火）9:00から8月6日（火）17:00までに博物館のウェブサイトからオンライン申込み。または、はがきに郵便番号・住所・参加者名（ふりがな）・年齢・学年・保護者名・電話番号を記入し「型紙」と明記の上、郵送（8月6日必着）。

**こじまひさやの「Thanks mom! 自画自参」ワークショップ**

かつて描いた絵の続きを描こう!

8月3日（土）13:00～15:00

講師 小島久弥さん（現代美術作家）

対象 小学1年生～大人 定員 20名（抽選） 参加費 100円（観覧料は含まない） 持ち物 昔（大人なら子どもの頃、小中高なら今の自分よりも小さい頃）に描いた自分の絵を持参。

申込 6月25日（火）9:00から7月23日（火）17:00までに博物館のウェブサイトからオンライン申込み。または、はがきに郵便番号・住所・参加者名（ふりがな）・年齢・学年・保護者名・電話番号を記入し「自画自参ワークショップ」と明記の上、郵送（7月23日必着）。

小島久弥の「Thanks mom! 自画自参」は、母親が取っておいた子どもの頃の絵を元に、現在の自分が世界を描き広げていくドローイングシリーズです。過去と現在が相互作用を起こしながらつながり、新たな1枚として成立するよう描かれています。

**藍染めから染色の仕組みを学ぼう**

A 「好きな模様をつけて染めてみよう」  
縫い絞りやライン絞りなどの技法を使って布に模様をつけて染めます。  
8月25日（日）①10:00～12:00 ②13:30～15:30  
対象 小学生以上（小学4年生以下は保護者の付添が必要）

B 「藍染で模様をつけてみよう」  
自分で切り取った図案を元に型を作り、藍染めの布を色抜きして模様をつける。  
※図案を切り取る際は、デザインカッターを使用。  
8月31日（土）10:00～13:00（途中休憩あり）  
対象 小学生以上（小学4年生以下は保護者の付添が必要）

A B ともに  
講師 智香さん（染色家） 定員 各回10名（抽選）  
参加費 材料費各回1,000円（観覧料は含まない）  
持ち物 汚れてもいい服装、エプロン（汚れ防止）、ゴム手袋 会場 妙興寺公民館（博物館東隣）  
申込 6月25日（火）9:00から8月12日（月）17:00までに博物館のウェブサイトからオンライン申込み。または、はがきに郵便番号・住所・参加者名（ふりがな）・年齢・学年・保護者名・電話番号を記入し、参加希望の日時と講座名を明記の上、郵送（8月12日必着）。